

平成 18 年（2006 年） 9 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（3 日目）

平成 18 年 9 月 15 日（金）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	大浜 美早江 (公 明 党)	1 発達障害者 支援について	(1) 本市における発達障害児（者）の人数と相談件数の推移を伺う (2) 発達障害者支援センターについて伺う ① 設置の意義目的は何か ② 本年10月開設に向けての状況はどうか
		2 小児救急電話相談について	(1) 本市の急病センターにおける状況を伺う (2) 県への設置要請はどうか 【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 9 月 15 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	座 覇 政 為 (そうぞう)	1 市政概要における市有財産の記録公表について 2 労働行政について 3 政府の骨太方針と那覇市の今後の対応等について	(1) 公用財産中、消防関係施設で土地建物とも減少しているが、その理由は何か。また、その他で土地が401.05㎡増え、建物面積合計も増えたのはなぜか (2) 公共用財産の市営住宅関連の土地が減少しているが、なぜか。また、建物面積（延べ）合計が同じとはなぜか (3) 普通財産の土地について、繁多川分が抜けているが、その理由は何か。この表の主なものを説明せよ 7月の完全失業者について、国県の概要はどうか伺う。また、7月の有効求人倍率について内容及び県内状況についても同様に説明願いたい (1) 人生の複線化による柔軟で多様な社会の仕組みの構築をするというが、①働き方、②学び方、③暮らし方のそれぞれの複線化について那覇市の考え方そして次年度はどう取り組むのか説明願いたい (2) 個別の事情に応じた再チャレンジ政策についてはどうか。それから、新たなチャレンジをめざす若者、女性、高齢者等の支援策について伺う 【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、代表監査委員、関係部長

個人質問（3日目） 平成18年9月15日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	多和田 栄子 (社社連合)	1 福祉行政について 2 障害者自立支援について	次世代育成支援行動計画の進捗状況について (1) 待機児童の現状と、その具体的取り組みはどのようなになっているのか伺う (2) 認可保育園の定員の弾力化、及び今後、創設等による定員の拡大はあるのか伺う 障害者自立支援法施行に伴う対応について 国において障害者自立支援法が4月から施行され、10月から具体的なサービスの提供を行うことになっている。そのことを踏まえ、那覇市における状況について伺う (1) 居宅サービスの利用をやめた人、日数や利用時間を減らした人の実態をどのように把握しているか (2) 那覇市重度心身障害者医療費等助成事業の入院時食事療養費についてはどのようなになっているのか (3) 障害福祉計画の策定状況について聞く

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 認定こども園について	2006年6月に制定された、いわゆる「認定こども園」は、次世代育成支援の観点からも期待される。しかし、その具体的認定基準は県条例で定めることとなっている。その条例の内容いかんでは基準が大幅に緩和され、教育や保育の質の低下が懸念される そこで、那覇市における対応について伺う (1) 具体的な認定基準は県条例により定められるが、認定基準策定や制度運営にあたって市が関与できる仕組みを求めるべきと考える。市としてどのような取り組みをしたのか。また、県へどのような要望をしたのか (2) 幼稚園や保育所が認定を受けることにより業務が大きく変わると予想される。部内での検討、職員に対する説明は進んでいるのか 【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 9 月 15 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	知 念 博 (市民の会)	1 福祉政策について	(1) 「４月に施行された障害者自立支援法で利用者の費用負担が増えたことにより、県内で132人が居宅サービスの利用をやめたり、時間や日数を減らすなど何らかの制限をしていることが県福祉保健部のまとめでわかった。利用をやめた人は64人で、そのうち50人は施行前の負担が０で、施行後に最大約12,800円の負担が試算された人もいた。同法施行で障害者を取り巻く環境が厳しさを増している実態があらためて浮き彫りになった。」と報道されていたが、本市の実態は把握されているのか、どのような状況にあるのか伺う また、本市独自の軽減策を導入すべきと考えるが当局の見解を伺う (2) 身体障害者福祉センターにおいて、障害者のためのデイサービス事業が実施されている。機能回復訓練が行われるなか、創作的活動として音楽・琉舞・三線・絵画・書道・皮工芸・手芸・陶芸教室等も開催され、また入浴や送迎サービスも実施されている 家にこもりがちになる障害者にとって生きがいづくり、ともだちづくりの場として、また、社会活動への参加意欲を促す大変貴重な事業として根づいている 自立支援法の施行により10月1日から国の支援費制度が打ち切りになり、事業の継続が困難な状況となっていた。重度心身障害者に係る入院時食事療養費の支給は県負担分が削除された結果1/2へ減額され、次年度以降の見通しは全く立たない状況にある 障害者への負担が重くのしかかるこのような中で、デイサービス事業の継続を打ち出した本市の取り組みは称賛するに値するものと評価する。次年度以降も引き続き実施していくのか決意のほどを伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 にぎわい街 づくり政策に ついて	来年1月よりトランジットマイルが試行されることが決定した。ストリートミュージシャンやダンサー、エイサーや太鼓集団、大道芸人、スケボー、自転車、スケートグループ等に認定証を発行し、商店街の催しやトランジットマイル、テンプス館の事業等に活用したらどうか当局の見解を伺う
		3 上下水道行政について	本市において開閉栓や検針業務はすでに民間委託されているが、その効果の程を伺う 土日受け付け等のサービス向上と更なるコスト削減を目指し、窓口業務や料金収納、滞納整理、電算処理等の業務を民間委託すべきと考えるが当局の見解を伺う また、民間委託した時の効果と今後の取り組みを伺う
		4 保健衛生行政について	05年に新規報告されたH I V感染者とエイズ患者の合計は、1,199人となり過去最多を更新したとのこと。85年初の患者確認以来累計は、11,000人を超え、なお増加傾向は続いており、厚生労働省はエイズの状況悪化が著しい16自治体を選び出し、重点的な対策に乗り出すことを決定した。この16自治体で02年から04年に新たに報告された感染者と患者の合計は2,349人で全国3,063人の77%を占めている 厚生労働省は、増加傾向に歯止めをかけるため夜間・休日検査の導入や予防啓発活動、医療提供体制の整備など重点的対策を打ち出し支援するとのことである 本県の感染者と患者数の推移はどうなっているのか、他県と比してどのような状況にあるのか また、本市の場合はどうなのか伺う、本市のエイズ対策とその効果を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、上下水道事業管理者、 関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 9 月 15 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	高 良 正 幸 (自民・無所属 連合)	1 障害者問題 について 2 障害者自立 支援法につい て	(1) 障害のある人が地域の中で暮らしていく 上で、様々な事件に巻き込まれる可能性があ ると聞いているが、市では障害のある人が悪 質な訪問販売などの被害を受けたという事 件の報告があるか。もしあるなら、どうい うふうに対応してきたか (2) 障害のある子どもとその家族が、安心して 利用できる、遊び場やショッピング、病院、 サークル活動などといった「居場所」が必要 である。市では、こうした障害のある子ども と家族が利用できる案内や情報はどのよう にして提供しているか (1) 障害者自立支援法による新しいサービス のしくみと内容を、これまでの障害者福祉サ ービスとの違いについて、分かりやすく説明 していただきたい (2) 障害者福祉サービスを利用したときにか かる費用について説明していただきたい (3) 地域生活支援事業というのはどのような ものがあり、また、どのような事業者がこの 事業を起こすのか (4) 障害者自立支援法の障害者福祉サービス 以外に、那覇市独自の政策はあるか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 障害者福祉センターについて	北海道の旭川障害者福祉センター「おびった」は、身体機能の訓練、健康の増進、スポーツ、レクリエーションなどの施設機能を提供し、障害者の自立と社会参加を積極的に推進する、障害のある方々も健常者も共に利用できる共生施設である 那覇市には、障害者専用のスポーツ施設がなく障害者福祉センターも老朽化しており、わが那覇市でも旭川市の「おびった」にみられるような障害者、健常者共用の施設をぜひ設立していただきたい。那覇市の見解を求める
		4 幼保一元化について	わが市では「教育行政運営ビジョン」の中で、幼保一元化の推進を掲げており、実現に向けて努力していると思うが、以下のことについて問う (1) 市はこの幼保一元化についてどのように考えているか (2) また保護者の立場と子どもの視点からの幼保一元化のメリット・デメリットについて (3) 幼保一元化に対し、市はどのように取り組んでいるか (4) 幼稚園教諭と保育士については、どの程度調整が進んでいるか
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 9 月 15 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	洲 鎌 忠 (大志の会)	1 経営企画行政について	団塊の世代について (1) 団塊の世代の定義について述べよ (2) 団塊の世代（S22、S23、S24年生まれ）の本市・県・国それぞれの人口は幾らか (3) 同世代の本市・県・国の退職者の総数における、それぞれの公務員の退職者数はどれくらいか (4) 団塊の世代の退職金の総受取額は幾らか（本市、本市の職員、県、国に分けて） (5) 団塊の世代の特徴 (6) 同世代への評価 (7) 団塊の世代の退職後の対応について (8) 団塊の世代について調査研究をする所管事務は、どうなっているのか問う
		2 公園行政について	(1) 公園設置の目的は何か (2) 新都心公園の利用あるいは使用状況について説明を求める。並びに同公園の駐車場の使用時間の延長をすべきだと思うがどうか、見解を求める (3) 若狭ビーチ近隣の公園でバーベキュー等の使用が許可され、市民に大好評であるが、若狭海岸に設定された駐車時間の延長を、那覇港湾一部事務組合に要請してほしいとの市民からの声があるが、ぜひ市民のニーズに答えてほしい。答弁を求める
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（3日目） 平成18年9月15日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	比嘉 憲次郎 (社社連合)	1 健康なは21について 2 栄養教諭について 3 高齢者虐待防止法について	(1) 「健康なは21」計画を策定してから現在までの進捗状況を伺う (2) 「健康なは21」計画策定の趣旨の中で、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病等いわゆる生活習慣病対策が重要な課題であると記述しているが、「心の健康」の位置づけはどうか伺う (3) 本市における過去5年間の自殺者の数及び交通事故による死亡者の数を伺う (4) データで見る10年後の那覇市民の姿として、自殺者数が4割減少する目標を掲げているが、その達成のための具体的な取り組み及びそれに充てる年間の予算額を伺う 本市の小中学校に配置された学校栄養職員の数は何人か伺う。本市の小中学校に昨年から導入された「栄養教諭」を配置する計画があるか伺う (1) 高齢者虐待防止法の目的を達成するため、関係機関、団体とどのような連携協力体制を整備しているのか伺う (2) 虐待防止に関する中核機関はどこか伺う (3) 過去5年間における家庭内での高齢者に対する虐待の数と介護施設従事者等による虐待の数を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 同法第9条2項に基づく「老人短期入所施設」及び同法第10条、第14条2項に基づく「居室」は確保されているか伺う (5) 高齢者虐待防止法と成年後見制度との関係について伺う
		4 道路行政について	(1) 真和志中央線の開通予定はいつか伺う (2) 真嘉比駅前線、真嘉比古島線で車が通行できる日はいつか伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 9 月 15 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	大 城 春 吉 (自民・無所属 連合)	1 公設市場問題について	本市の市有財産の一つである公設市場は、戦後この方、特定の市場以外は今なお市民に生活必需品を供給し、消費者ニーズに応えている しかし、数十年前から資本力をバックにした、誘客力の優れたスーパーマーケットや大型店舗等が周辺地域や郊外に進出して、公設市場としての機能・役割はかなり少なくなっている感がある そこで、次の３点について当局に伺う (１) 平成16、17年度における各市場の小間数、使用小間数、空小間数、そして市場全体の維持管理費はどうなっているか (２) 平成17年度決算時における、市場全体の使用料及び光熱水費の収入未済額そして不納欠損額は幾らか (３) 市場条例を改正して、公設市場としての機能を果たしてないものについては廃止する考えはないか。また、小間使用料の見直しは考えてないか
		2 壺屋博物館について	ヤチムン、シーサーの発祥地、壺屋。壺屋焼は沖縄の焼き物を支え、また戦後、本市復興の拠点ともなったと言われている。300年の歴史を有し、本県の焼き物の魅力、歴史、文化を県内外に発信し、今後ますます地域と行政が一体となって継承・発展させなければならない大変重要な博物館である。しかし昨今、博物館の面影が薄くなっているような感がある。そこで現状はどうなっているか次の点について当局に伺う (１) 平成12年から平成17年度までの年度ごとにおける総観覧料、入館者数（有料、無料）そして入館者数内訳について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 観覧料免除者とはどういう方を対象としているか (3) 博物館の管理運営費は年間幾らか。また今後、指定管理者制度を導入する考えはないか (4) 博物館の事業運営にあたって特にどういう事業に力を入れているか。そして、今後の展望（方策）を説明せよ 【答弁を求める者】 市長、関係部長